産業建設常任委員会活動レポート

開催日時：令和4年4月14日（木）

開催場所：1・2号委員会室

建設水道部

1. 除雪事業について

- (1) 除雪費は当初予算7,500万円から4回目の補正予算により2億2,687万1,339円となりました。
- (2) 12月から3月までの積雪量の合計は240cmとなり、除雪や排雪などで59回の出動となりました。

【主な質疑】

委員：除雪委託料の他に最低保証費が払われています。相当の降雪量があったのになぜ最低保証費が必要となったのですか？

担当：3つの業者とロータリー除雪車の委託契約をしており、決められた稼働時間より少ない場合は車検代の保証を行う契約となっていたため、ロータリー除雪車の稼働が契約時間数より少なかったためです。

委員：雪解けが進み、堆雪場所の砂利や路肩の破損、路上のアスファルトの破片などが散見されています。降雪量や時期によって除雪方法を考えてほしい。

担当：各堆雪場所は状況を見て清掃を進めていきます。凍上により舗装のき裂ができ、気温が高くなってからの除雪作業では、どうしても舗装のき裂が削れてしまいます。

路肩や砂利道路も含めパトロールし破損個所の対応をしているところです。

2. 社会資本整備総合交付金について

- (1) 道路事業等の交付金は、橋梁長寿命化修繕計画や除雪トラック整備事業、道路整備事業など合計で2億9,856万9千円の事業費の交付金内示となった。
- (2) 公園事業では緑ヶ丘森林公園遊具設置と遊具設置調査委託料で合計4,200万円の交付金内示となった。
- (3) 下水道事業では、終末処理場設備更新事業やマンホールポンプ所設備更新事業など合計で3億2,204万円の交付金内示となった。

【主な質疑】

委員：森林公園整備にあたり公園とキャンプ場の両方を組み合わせた形で利用してもらえるように整備してほしい。

担当：キャンプ場の整備に関する基本計画の策定を同時に進め、ゆめの森公園など周辺の施設の活用も含め検討します。

委員：基本計画策定にあたっては、以前に実施された手ぶらデイキャンプ実行委員会の方など地元の利用者の声も聴いてほしい。

担当：基本計画の策定をコンサル会社に発注する予定で準備を進めており、基本計画の策定にあたっては様々な方から意見を聞いていきたいと考えています。

経 済 部

1. 学校法人岩谷学園について

(1) 岩谷学園ひがし北海道日本語学校について

4月11日に中標津経済センターにおいてオンラインによる入学式が挙行されました。昨年度入学の学生も新型コロナウイルスの影響で入国できず、昨年度はオンラインでリモート授業を実施していましたが、授業単位として認められないとの国の見解があったことから、昨年度入学の6名と本年度入学の4名で合わせて10名を一期生として入学式が実施されました。

【主な質疑】

委員：50人の定員で10名の入学者しかいないことが心配ですが、それはなぜでしょうか？

担当：本年度は50人の定員に対し35名の合格者がおりますが、ビザの発給や入国審査などの問題から入学できるのは4名で、昨年度の入学生6名と合わせて10名が順次5月中から入国してきます。また、学園側からは入国手続きに関する書類の作成など引き続きサポートを行っていきたくと伺っています。

(2) 岩谷学園専門学校の開設計画について

岩谷学園ひがし北海道IT専門学校（仮称）が令和6年4月の開校を目指して準備を進めています。

地域未来ITテクノロジー科の専門課程として、地元産業への人材供給に寄与する農業ITコース、商業観光ITコースを検討しています。

場所は、東7条南9丁目から東9条南10丁目の町有地です。

【主な質疑】

委員：開設場所は職員住宅などを壊した所の全部ということになるが、当初から全部を貸すのではなく必要な部分のみとし、その他の町有地は有効活用するように検討するべきと申し入れしていましたが、どのような対応となっていますか？

担当：詳細な設計がされていないため、学園側から土地の利用計画も示されていません。現段階では利用できる土地の最大限の広さを示していますが、学園には必要な土地の分だけの貸与という話をさせていただいています。

2. その他

修学旅行の誘致について（委員からの質問）

【質問内容】

委員：岩谷学園の理事長と神奈川県調理師専門学校の理事長とお話させてもらったときに道東は食の宝庫であり修学旅行先にしたいとの話があったと思うが、その後の経済部の対応はどうなっているか？

担当：今年3月に専門学校と旅行会社が下見に来ており、実施の方向で内容を詰めていきたいと考えています。また、岩谷学園さんの橋渡しで、中標津農業高校と神奈川県内の農業高校が協定を結び、そちらの方は修学旅行の他に相互交流を行うことも検討されています。新型コロナの影響で実施時期は決められていませんが、実施に向けて努めてまいります。

町民生活部

1. 新型コロナウイルスへの対応について

中標津グループホームすずらん（介護施設）において、12名（4月12日現在）の感染発生者があったことの報告を受けました。

【主な質疑】

委員：介護施設なので入居者、職員とも3回目のワクチン接種が終わっていると思いますが、感染状況はどのようになっていますか？

担当：入居者、職員とも全員が3回目のワクチン接種を終えています。12名のうち半数が発熱で軽症、半数が無症状という状況で入院者はありません。

総務部

1. 中標津町行財政健全化計画について

令和7年度までの第8次中標津町行財政改革大綱の説明を受けました。

【主な質疑】

委員：町立病院など企業会計や特別会計への繰出金ですが、国の基準の範囲内で出すことができても、財源がなければ出せません。財源確保に町予算の歳出を削減するだけでは無理が生じてくるため、歳入を増やすことについてどのように考えていますか？

担当：5つの特別会計、2つの企業会計がありそれぞれの会計が独立採算をもって収支を賄うのが原則です。町立病院に関しては、収支均衡のために支援している部分が多くなっていますが、現在プロジェクトを含め経営改善に取り組み繰出金も減少してきています。繰出金の抑制は一つの大きなテーマとして引き続き取り組んでまいります。

財政改革については、収入を増やす、支出を抑えることに尽きるわけで、ふるさと納税に関しては一層強化をはかり、町税を含めた収入もしっかりと確保していきます。また、歳出の抑制は費用対効果などを見ながら取り組んでいきます。今回5年分の行財政改革大綱を策定しましたが、第7期総合計画も着実に実行するという両輪で取り組んでいきたいと思っています。